

今村復興大臣天王洲マルシェ訪問時会見録

(平成28年10月13日(木) 12:35～12:40 於) 天王洲シーフォートスクエア)

1. 発言要旨

今日は、この第3回天王洲マルシェに私も初めて参りまして、今、生業の再生ということで、是非、東京の大消費に打って出ようじゃないかということで、私の方でも今、指揮を執ってますので、ちょうどいい催しだったというふうに思っております。

非常においしいものはおいしい、そして特に今日も言いましたが、お米なんかはもう日本一、世界一安全なお米だと、しかもおいしいわけですから、そういったところをもっと消費者の人に分かってもらうように、しっかりとアピールをしなければいけないというふうに思っております。

そして、何と言っても東京というのは、大消費地ですから、東北はそこに近いわけだから、九州生まれの我々にしてみれば、非常にうらやましいぐらいなんです。そこで、その持てるポテンシャルをしっかりと発揮して、是非これからの東北復興再生の大きな力になってもらえというふうに思っています。

(東京商工会議所・副会頭) 東京商工会議所の方でこの会を主催しましたけれども、地元の商工会議所と話をすると、これからいよいよ地元へ賑わいを取り戻すという、そういう時に、何よりも彼らが元気になるには、やはり地元の名産、あるいは農産物を皆さんが買うこと。それで、そのことによって通常のビジネスで地元にお金が回り始めると。これが一番元気が出るというふうに言いますので、最大の今、協力をしているところでございます。できるだけ多くの方が、どんな風評にも負けずに、東北のいわゆる名産、一次産業をですね、たくさん買っていただきたいと思います。そういうことを是非希望したいですね。

2. 質疑応答

(問) 東京商工会議所さんでは震災以降、継続的にこういった支援を続けられていると。全国で震災からの風評、それから風評が続くつつも、風化が懸念されているという中で、東京商工会議所さんがこうやって長く続けられていると。このことについてはどのように受け止められますでしょうか。

(答) 非常にうれしく思いますよ。力強いですよ。そして、やっぱり東京には、結構東北出身の人が多くはずですよ。だから、そうした人たちにもっとアピールをして、是非故郷をヨイショしようじゃないかという気運をもっと盛り上げてもらえというふうに思っていますし、我々もそれをこれからしっかりとやっていこうと思

っています。

(問) あわせて、副会頭さんにお聞きしたいのですが、今までこう続けて来られたこれまでの取組、今後はどのようにお考えでしょうか。

(答) (副会頭) まず、実態から言うと、期限をもう定めないというふうに投票で決めました。したがって、今までは震災対策特別委員会というふうにしてきたんですけれども、今度11月からは「特別」を外して、恒久的な委員会にします。つまり、時間は、過去に想定していたよりもはるかに長くなるだろうと。これがまず最初の認識です。

それと、2番目は、大臣が正におっしゃったように、東北出身の方が結構多いんですね。だから、今まで以上にもっともっと強力に支援していこうじゃないかということだと思います。

(以 上)